

10.29

THU

2026

16:35 – 18:05 5 限

東京女子大学 6 号館 6111 教室

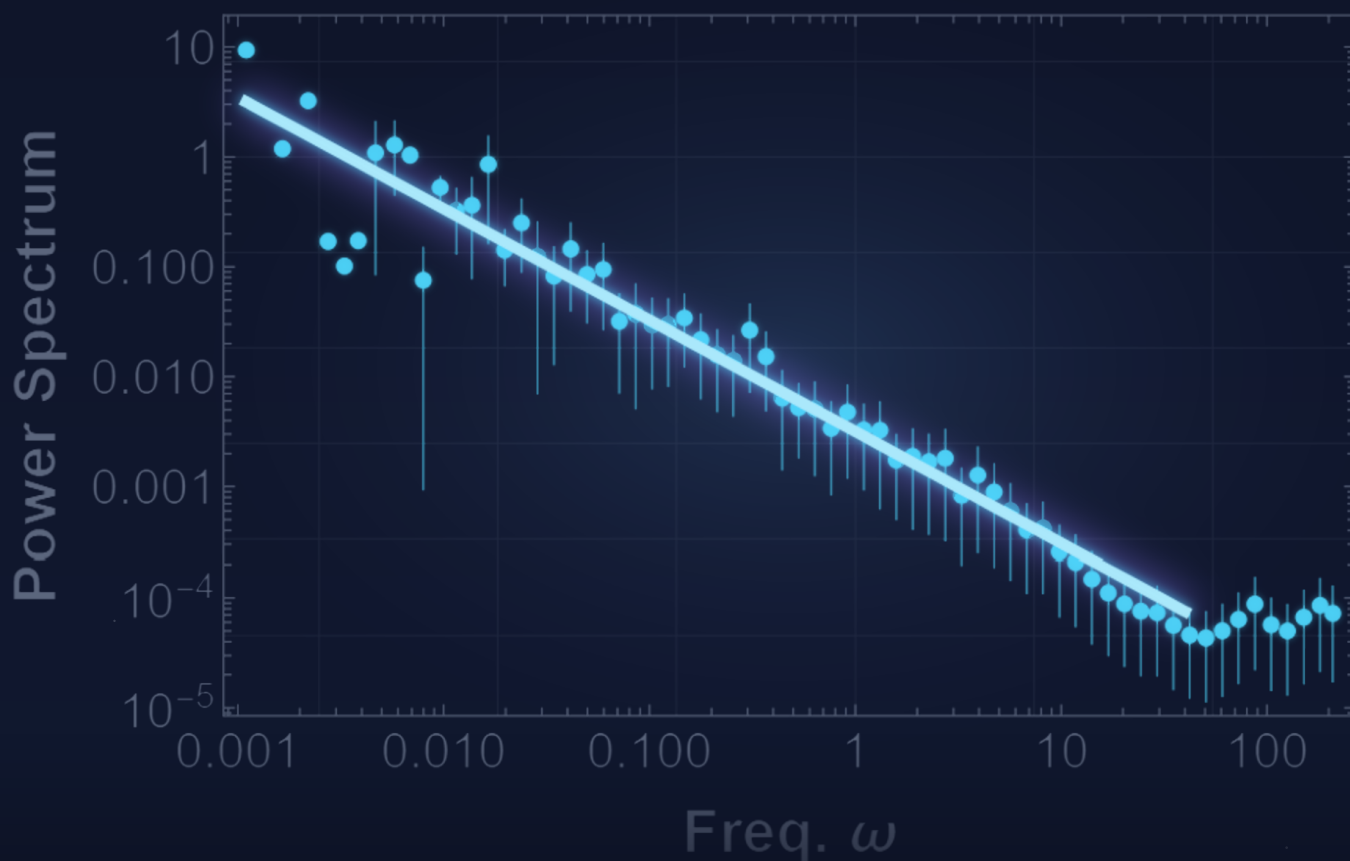
物理を専門としない方も歓迎・入退室自由

「 $1/f$ ゆらぎ」から 宇宙を眺める

太陽・恒星の活動と予測できない変化

VIEWING THE UNIVERSE THROUGH $1/f$ FLUCTUATIONS: SOLAR AND STELLAR
ACTIVITY AND UNPREDICTABLE CHANGE

OPEN TO ALL



SPEAKER

中道晶香

AKIKA NAKAMICHI

京都産業大学 教授

ABSTRACT 概要

自然界には、規則正しい周期運動とも完全なランダムとも異なる「ゆらぎ」が数多く存在します。その代表例の一つが「 $1/f$ ゆらぎ」です。本講演では、身近な現象を入口として、ゆらぎを周波数ごとに分解して調べる方法を紹介し、太陽や恒星の磁気活動、磁極反転などの宇宙現象へと話を広げます。さらに、非線形力学や同期現象のモデルとの比較を通して、複雑な変動の中にどのような共通の物理が隠れているのかを考えます。

フーリエ変換

パワースペクトル

磁極反転

同期現象

本セミナーは文部科学省 AI for Science 萌芽の挑戦研究創出事業（SPReAD）採択課題「AI 支援階層ベイズ解析による精密物理諸量の tension 構造とメタ不確かさの分野横断的汎用評価」（研究代表者：尾田 欣也）の助成により開催しています。

